

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

# あかみね政賢 国会だより

月刊 No.11

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】  
〒900-0016 那覇市前島3-1-17  
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館1107号室  
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626



(上)がんばろう三唱する赤嶺議員ら  
(下)発言者の訴えに耳を傾ける参加者

## 陸自訓練場計画の断念を 立場を超えて1200人結集

うるま市石川への自衛隊訓練場計画の断念を求める市民集会(自衛隊訓練場設置計画の断念を求める会主催)が3月20日、同市の石川会館で行われ、会場あふれる1200人が集まりました。オール沖縄の国会議員5名のほか、多くの県議や市議が駆けつけました。

閑静な住宅地、年間4万人の子どもたちが利用する県立石川青少年の家の隣接

地に突然持ち上がった陸自訓練場の建設計画。共同代表の伊波常洋元自民党県議は「地元の旭区に一言もなかった。隣の空き地に人家をつくるときに、あいさつぐらいするのが当たり前だ」と批判。「辺野古移設反対で故・翁長雄志元知事が保革をこえてたたかった。力を結集して断念を目指そう」と呼びかけました。

市老連石川支部の河野修

さんは「辛く苦しい戦中戦後の記憶をまるで土足で踏みこむような行為で精神的な苦痛となる。即刻断念すべき」と訴えました。高校生代表の小橋川仁菜乃

さんは「正義の対立を治める力は憲法に基づくプロセスをへた対話。憲法の理念に矛盾し、十分な議論がなされず閣議決定した集団的自衛権の行使、安保三文書は違法で無効」と述べました。集会は、計画断念を求める決議を満場一致で採択しました。

集会に先立つ15日の衆院安全保障委員会で、赤嶺政賢議員は「このような場所を一体いつ誰が選定したのか」と問いただしました。木原稔防衛相は、青少年の家の利用状況を県や施設側で確認しなかったこと、宮古島や石垣島への自衛隊配備で行ったような業者への委託調査を行わなかったことを明らかにしました。

反対の決議・意見書を可決する動きは、他の自治体にも広がっています。計画断念を勝ち取るまで、島ぐるみのたたかいを広げに広げましょう。



「自衛隊は沖縄を守るためにいるんだと友達と話していたけど、間違いだよね」と、孫が話しかけて

きた▼自分と違う意見をもっている同級生に戸惑っているようだった▼「じーじーが戦争に反対し、平和を守るために頑張っていることをよく知っている。でも自分の国は自分で守る」と軍事力の強化を説く大人も少なからずいることはまだ十分わかっていない▼「じーじーは、色紙に「命どう宝」と書いて孫に渡したことがある▼いつか孫が「命どう宝」に込めた意味を理解できる日が来ると信じて、じーじーは今日も憲法9条を守りぬき、平和の心を孫の世代にも引き継げるよう頑張る。

# 衆院安全保障委員会で追及 オスプレイ 飛行再開はやめよ

米軍は3月8日、オスプレイの運用停止を解除しました。昨年11月の鹿児島県屋久島沖への墜落事故の原因となった部品は特定されたとはいませんが、米国防総省の高官らは米メディア

に、なぜ不具合が起きたかについての調査は今も継続中と述べています。事故後1カ月にもわたり残骸が水没していたために原因を特定できない可能性も指摘されています。



木原防衛相に質問する赤嶺議員

赤嶺政賢議員は3月12日の衆院安全保障委員会で、「事故原因がわかっていないにもかかわらず、飛行を再開するなど到底許されないと米軍の判断を容認した政府の姿勢を厳しく追及しました。」

## この間の活動

- 沖縄等米軍基地問題懇談会に出席(3月5日)
- うりずんの会でうるま市石川への陸自訓練場建設の断念を防衛省に要請(同6日)
- 全労連の大幅な賃上げを求める請願デモを激励(同7日)



- 陸自宮古島駐屯地と保良訓練場を視察(同9日)
- 陸自勝連分屯地へのミサイル配備反対の抗議集会に参加。沖縄市でしまぶく恵祐県議と街宣、糸満市で上原トワイチロー県議予定候補と街宣(同10日)
- 結婚の平等(同性婚法制化)を求める院内集会で挨拶。憲法共同センター運営委員会で国会情勢報告(同22日)
- たまき武光県議女性の集いに参加(同23日)

## 国政と県政をつなぐ(2)

### 島袋恵祐 県議会議員に聞く



島袋恵祐県議

—— 県議会議員として1期4年、取り組んだ案件や実績

嘉陽宗儀前県議の後を継いで当選した2020年は、コロナの感染が広がった年でした。議会では青年・学生への支援をはじめとしたコロナ対策、嘉手納基地の撤去、うるま市へのミサイル配備や自衛隊問題、ジェンダー平等問題等を毎回取り上げてきました。

—— 赤嶺政賢衆院議員と力を合わせて取り組んだ案件や実績

2016年から18年の2年間、赤嶺議員の現地秘書を務め、一緒に闘いの現場(辺野古や高江等)へ行き、調査して国会で取り上げる現場主義を学びました。県民の要求を聞き取り、政府に直接ぶつける姿を間近で

見てきました。

—— 2期目をめざしての決意など聞かせて下さい

「家計を助けたい」と双子

## 国政と県政をつなぐ(3)

### 西銘純恵 県議会議員に聞く



西銘純恵県議

—— 県議会議員として4期16年、取り組んだ案件や実績

3期までは、文教厚生委員会の委員として、18歳までの国保証無条件交付、子どもの貧困問題の調査・対策、中学卒業までの子ども医療費無料化、臨時教員の正規雇用・社会保険料支給、学童クラブの家賃補助・公的施設建設への補助、特別養護老人ホーム・認知症施設などの増設、浦添の軍港埋め立て反対、PFAS汚染

対策などを、議会で取り上げ、その実現に努めました。

—— 赤嶺政賢衆院議員と力を合わせて取り組んだ案件や実績

赤嶺議員には、特に教育問題、最近では沖縄の「教師の負担軽減」について国会で取り上げてもらいました。

—— 5期目をめざしての決意など聞かせて下さい

市議時代から無料生活相談活動を続けてきました。子どもの貧困対策をくり返し取り上げ、デニー県政の最重要政策に据えられました。未来を担う子どもたちのために、デニー県政を支え、国政を変える。自公政治を終わらせる突破口にしたいと思っています。